VGCU-2652（H）型　2連棟

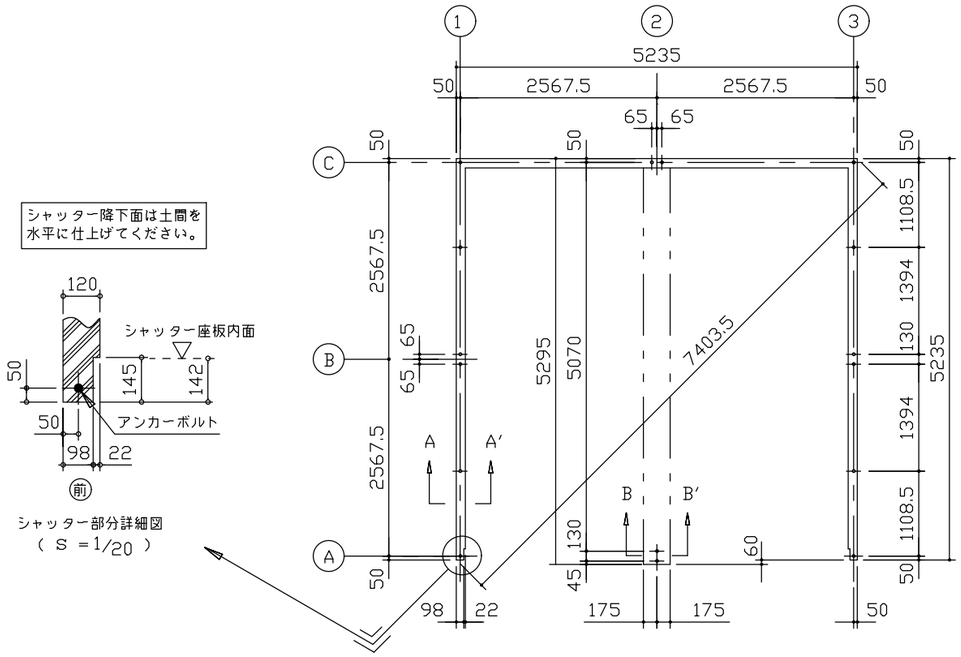
建築面積	26.37m²（7.98坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

部　材　名	形　状	板　厚	使用材料	有効細長比
前　柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後　柱	⌊-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱（左右）	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後　柱（中）	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前　柱（中）	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
補　強　柱	□-85 × 44	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	134.7
桁　　前	⌐-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　　中	⌐-181.5 × 69.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中 補 強	⌊-180 × 48	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　　後	⌐-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
桁 後 補 強	⌐-138.5 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁	⌶-310 × 114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁　補　強	⌶-343 × 80	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	⌣ -25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材

部　材　名	形　状	板　厚	使用材料
上　　枠	⌈-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下　　枠	⌈⌊-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⌓-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間　　柱	⊏-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋　　根	〰 -88 × 600	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⌇ -14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻　隠　し　前	⊂-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
ケ　ラ　バ	⊏-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）



布　基　礎　伏　図（S= 1/80）

・布基礎断面図　縮尺=1/20

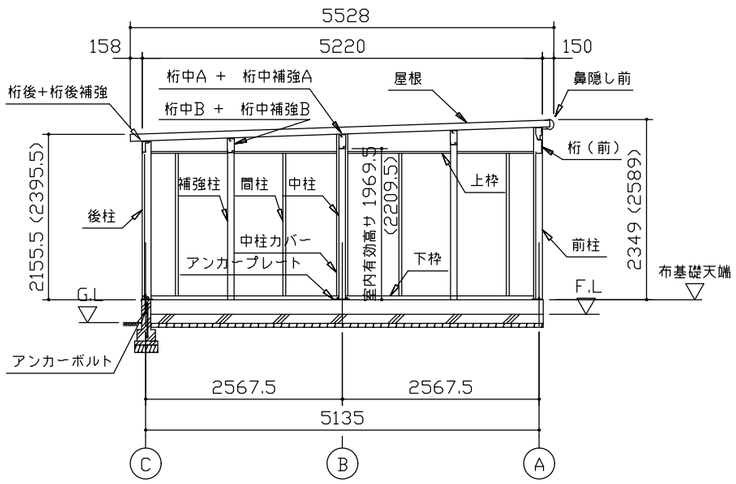
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm² 以上
基準風速 34m/s ，地表面粗度区分Ⅲ）

＜上記条件での参考図です。＞

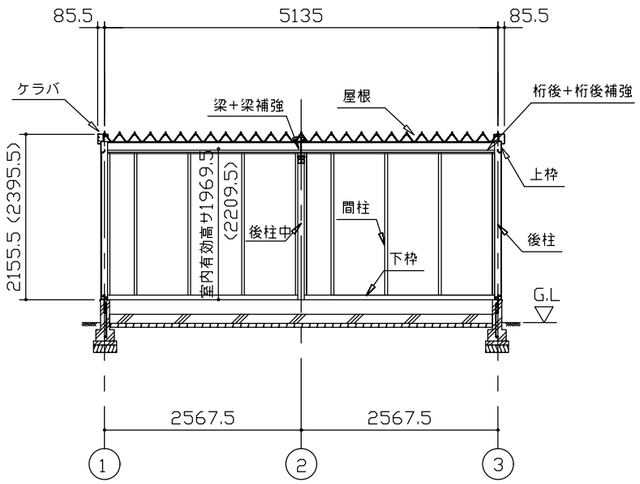
注１）地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）
　　の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注２）寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情に
　　あわせて設計して下さい。

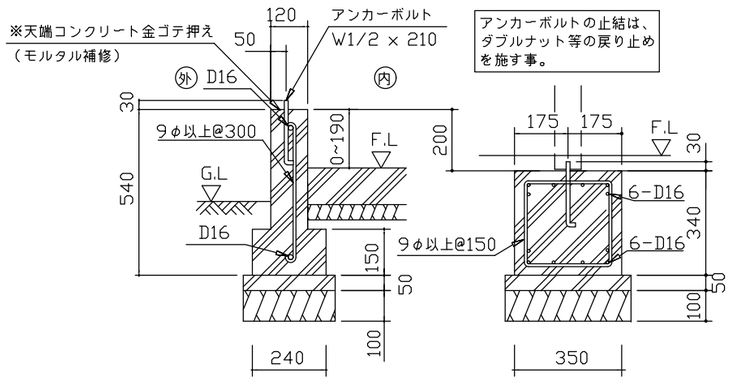
注３）その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



側　面　断　面　図（S= 1/80）



正　面　断　面　図（S= 1/80）



A ～ A′ 断　面　　B ～ B′ 断　面

・（ ）内寸法ハ、Hタイプヲ示ス。

・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名　称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VGCU-2652(H)型（2連棟）	

＜VGCU－2652－2－B_2Y.DXF＞